



平成 21 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社東邦システムサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 篠原 誠司  
(コード番号 4333 東証第二部)  
問合せ先 取締役管理本部長 高橋 誠  
(TEL. 03-3868-6060)

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想との差異に関するお知らせ

平成 21 年 8 月 5 日に公表しました平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の業績予想と比較して、本日公表の第 2 四半期決算値において下記の通り差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値と実績値の差異

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	3,750	40	44	△20	△2 円 90 銭
実績値 (B)	3,733	95	99	12	1 円 84 銭
増減額 (B-A)	△16	55	55	32	—
増減率 (%)	△0.4	140.0	126.9	—	—
(ご参考) 前期(平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間) 実績	4,040	472	476	261	43 円 26 銭

2. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値と実績値の差異

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	3,110	15	26	△1	△0 円 14 銭
実績値 (B)	3,105	59	71	28	4 円 07 銭
増減額 (B-A)	△4	44	45	29	—
増減率 (%)	△0.1	293.7	173.9	—	—
(ご参考) 前期(平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間) 実績	4,035	469	481	268	44 円 33 銭

3. 差異の理由

(1) 個別業績

企業の I T 投資が停滞する厳しい環境のもと、当社では、案件確保に向け営業体制の強化に注力し受注の拡大を図るとともに、利益面では、開発部門におけるパートナー要員を含め、開発要員の適正配置を徹底することによる原価低減や仕損を発生させないプロジェクトの品質管理、生産性向上に鋭意取り組みました。

これらの活動の結果、前回公表しました第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の業績予想に対し、売上高は微減となったものの、損益面では営業利益、経常利益とも前回予想を上回り、四半期純損失の予想につきましては純利益に回復することができました。

(2) 連結業績

連結業績予想数値と実績値の差異は、主に個別業績の差異と同様の理由によります。

以 上